

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	都城キャンパス	都城キャンパス	開設学科	開設学科	子ども教育学科	
科目名称	教育の方法と技術					授業形態	授業形態	演習	
科目コード	750066	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	実務経験教員	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	福富 隆志							ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業の目的は、教育方法についての認識を深めることを通して、教育実践を問う優れた視点を獲得するとともに、実践を創造する力（教育実践力）の基礎を身につけてもらうことです。</p> <p>そのため、授業では教育実践デザインの原理と視点について講義するとともに、授業実践例を検討したり、自分自身の体験を振り返ってもらうことで、「良い教育実践とは何か」についての自分なりの考えを考察する機会を設けます。さらに、授業プランをグループおよび個人で作成してもらうことで、教育実践デザインに関する理解を深め、自らの教育実践力についての省察を深めてもらいたいと思います。</p>								
関連する科目	特にありませんが、事前に教育心理学を受講しておく、理解が深まるでしょう。								
授業の方法と進め方	講義のほか、映像視聴、課題の実施、意見交換や討論、発表などを行います。特に、グループで作業、討論、発表をすることも予定しています。								
授業計画【第1回】	1. 教育の方法とは何か：構想・展開・省察 教育実践の構想・展開・省察について学ぶ								
授業計画【第2回】	2. 学習者中心の教育とは 学習者中心の教育とは何かについて学ぶ								
授業計画【第3回】	3. 「子どもが学ぶ道筋」を尊重する 「子どもが学ぶ道筋」を尊重するとはどういうことか学ぶ								
授業計画【第4回】	4. 教育実践例の検討1：個人の考えの表現 実際の教育実践を見て、特徴やよし悪しなどを考察する								
授業計画【第5回】	5. 教育実践例の検討2：意見交換と考察 先の個人での考察について意見交換し、さらに考えを深める								
授業計画【第6回】	6. 良い教育実践とは何か：自分の経験を振り返って これまでの経験を振り返って、良い実践と悪い実践を分ける要因について考察する								
授業計画【第7回】	7. 教育目的とICT 教育目的との関連から、ICTについて学ぶ								
授業計画【第8回】	8. 教育実践プランの作成1：実践の目的 教育実践の目的を考える								
授業計画【第9回】	9. 教育実践プランの作成2：実践の内容 教育実践の内容を考える								
授業計画【第10回】	10. 教育実践プランの作成3：実践の方法（学習形態としかけ） 教育実践の方法を考える								
授業計画【第11回】	11. 教育実践プランの作成4：実践の環境（学習環境のデザイン） 教育実践の環境を考える								

授業計画 【第12回】	12. 教育実践プランの作成5：学習者の実態把握 学習者の実態を把握し、実践プランに活かす
授業計画 【第13回】	13. 教育実践プランの発表1：前半グループ 教育実践プランをグループで発表する
授業計画 【第14回】	14. 教育実践プランの発表2：後半グループ 教育実践プランをグループで発表する
授業計画 【第15回】	15. 教育実践プランの発表（個人） 教育実践プランを個人で発表する
授業の到達目標	1. 教育実践デザインの原理と視点について理解する。 2. 教育実践例や自身の体験をもとに、「良い教育実践とは何か」についての自分なりの考えを、教育方法に関する理論的な根拠を踏まえて表現できる。 3. 教育実践デザインの原理に基づいて、教育実践プランを作成できる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学習 【予習】	次回の授業範囲に関する配布資料を事前に熟読し、次回の講義内容の概略を把握すると同時に、専門用語の意味等を調べておくこと（1時間）
授業時間外の学習 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること（1時間）、また授業時に示す課題に取り組むこと（1時間）
課題に対する フィードバック	レポートを含めた課題については、提出された回答をいくつか取り上げながら、解説を行います。
評価方法・基準	①課題（レポート含む）：80点 ②発表：10点 ③学習態度・意欲：10点
テキスト	特に用いません。
参考書	鹿毛雅治（2019）『授業という営み』教育出版 その他、必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	履修人数により、教育実践プランの作成や発表の予定が変更になる可能性があります。